

住民懇談会を開催しました

テーマ 未来へつなごたい・守りたい地域の強みについて ～2040年に向かって～

今年度の住民懇談会は、新たな総合計画のスタートの年として、地域を将来につなげるための土台作りに向けてより多くの「思い」を聞くため、9カ所に細分化して開催しました（令和7年9月25日～10月30日）。いただいたご意見等をこれからの政策のヒントとし、「市民ひとりひとりの思いで輝く五所川原」の実現を目指します。



テーマに関するご意見等



意見 全国的にも有名な市浦の強みであるしじみについて、例えばしじみせんべいの開発など、新たなものも展開してみたい。（十三コミセン）

A) 付加価値をつけるために、国の制度を利用しながら、漁協の皆さんの力を借りて商品開発に取り組むことになっています。

また、しじみのみならず、プラスアルファの収入を得るためのものをぜひとも一緒にやりたいと思っています。新たに挑戦したいことがあれば、行政もバックアップしますので、お気軽にご相談ください。（市長）



意見 文化財や名所を守るため、市や町をまたいで合同で観光客を呼び込むような計画を立ててほしい。（嘉瀬コミセン）

A) 市では観光分野に絞って地域おこし協力隊を2人募集し、五所川原市観光協会とタイアップしながら、地域観光の発信、新たな観光コンテンツの造成に取り組む計画を協議しています。また、国の制度も使いながら、多言語への対応、観光ガイドの育成などを行い、地域の特色を生かした経済として観光分野に取り組んでいきます。

来年は観光の新たなスタートの年と位置付け、力を入れていきます。訪れた観光客を地域でつなぐために、地域全体でサポートやサービスを行うまちづくりを一緒にしていきたいと思っていますので、ご協力をお願いします。（市長）



Q 人口減少・少子高齢化が進む中、今後重要になるのは介護をはじめとした高齢者福祉だと思う。市では福祉についてどのような対策をしているか知りたい。（川倉ふれあいセンター）

A) 市では高齢化や介護職の不足といった現状を踏まえて「五所川原市認知症の人とともに生きるまちづくり条例」を施行し、認知症フォーラムや小学生への認知症サポーター養成講座の実施など、施設に入れなくても周囲の支えを受けながら地域で暮らしていける社会を目指した取組を行っています。

また、今のうちから社会福祉協議会が行政の福祉の補完をできる組織になるようにバックアップを行い、行政、社会福祉協議会、地域の方々の方の力を合わせて高齢化社会を支えることが最優先であると考えています。（市長）



Q 総合計画の「まちづくりの理念」とは何なのか知りたい。（コミセン栄）

A) 市では総合計画の策定にあたって、財政運営の困難や人口減少に対応できるよう目標を絞り込み、「福祉」「経済」「教育」「まちづくり」の4つの基本目標を設定しています。

生活の上で最も重要である福祉の充実を1つめに置き、経済面では観光に力を入れていきます。教育においては、未来を担う子どもたちが地元で愛着を持てるよう、地域で守るべきものを守ることを重視していきます。そして、例えば「ごしょくる」等による交通の利便性の向上など、安全に生活ができるまちづくりに取り組んでいきます。この4つの目標を基に、人口減少、高齢化の中でも支え合える地域の構築を目指しています。（市長）



みんなが地域のために協力する気持ちを持っていることが強み。何百年も続いている行事を未来へつなごたい。（市浦コミセン）

（市浦コミセン）

自給率という強みを生かし、自給自足のライフスタイルを体験してもらうことをきっかけに、失業者の受け皿になれるのではないかな。（市浦コミセン）

（市浦コミセン）

眠っている価値や隠れた魅力を掘り起こして、経済に活用できると思う。（市浦コミセン、金木総合支所）

（市浦コミセン、金木総合支所）

教育分野において、地域の魅力、福祉の重要さ、協働の必要性などを子どもたちに教えていってほしい。（金木総合支所、嘉瀬コミセン、喜良市コミセン、中央公民館）

（金木総合支所、嘉瀬コミセン、喜良市コミセン、中央公民館）

自治会・消防団の役員を兼任している方を中継者として、横の連携を持つといいのではないかなということをお困りの町内会に提案したい。（中央公民館）

（中央公民館）

多様性を大切にし、助け合って豊かな自然を次世代に残すため、多言語対応や環境対策などに力を入れてほしい。（中央公民館）

（中央公民館）



テーマ以外のご意見等



Q 公共施設の集約化について、市ではどのような方針を持っているか知りたい。（コミセン七和）

A) 小規模な施設を身近な場所に作れるのが住民の方にとって一番良いということは承知していますが、行政としては次の世代に向けて、できる限り縮減を考えています。施設はだんだん使われなくなっており、ほとんど使用していないのに維持管理の費用がかかる状態のまま残っていると、次世代にとって負担になってしまいます。住民の方々と話をしながら、地域の中で施設をどう有効に使うか、何を残して何を断念するかを一緒に考えていくが必要だと思っています。（市長）

Q 津軽自動車道の柏～浮田の整備状況が今後どうなっていくか知りたい。（中央公民館）

A) 具体的にいつまでかはまだ言えない状況にありますが、災害時、そして医療において要になる自動車道であるため、早期完成に向けてできる限り全面的に協力しながら進めていきます。（市長）

* そのほか「学校再編」「道路整備」「除排雪」「ごみ」などについて、ご意見等が寄せられました。

* 詳細は、市ホームページ（右）をご覧ください（過去の住民懇談会の情報も確認できます）。



たくさんのご参加
ありがとうございました！



住民懇談会に関する問い合わせ先…総務課 内線2118

